

産前産後を通じた切れ目のない支援

(伴走型支援・妊産婦健診サポート)

予算額計：1,120万円

伴走型支援費

予算額660万円
3月補正：110万円
当初予算：550万円

妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を実施

妊娠中から産後2か月の間に**3回アンケート**を実施し回答内容に応じた相談を行います。

1回目
妊娠してすぐ

母子手帳交付時に面談

アンケートより**妊娠中からの健康づくり**や**利用できる支援制度**についてアドバイス
おなかの赤ちゃん給付金もご案内

2回目
妊娠8か月ごろ

NEW! アプリを活用して
情報提供やアンケートの送付

アンケートで面談相談を希望する方には
助産師が産後のママの健康や出産・育児の見通しなどを対面にてアドバイス



3回目
産後2か月までに

赤ちゃん訪問（全戸訪問）で面談

アンケートより**赤ちゃんやママの心身の健康状況や育児の困りごと**を確認しアドバイス
うまれた赤ちゃん給付金もご案内



妊産婦健診サポート費

予算額
460万円

妊産婦が安心して医療機関へ受診できるように
受診費用やタクシー代の負担の軽減を図ります。

NEW!

妊産婦タクシー費用の助成



妊産婦が医療機関を受診する時のタクシー料金を助成

- 内容 1回につき3,000円を上限に4回分助成
- 対象 妊娠中から産後2か月までの妊産婦

NEW!

低所得の妊婦の初回産科受診費用の助成

低所得の妊婦が初めて産科にかかる費用を助成

※妊婦健診（公費負担）対象外の診察費用分

- 内容 10,000円を上限に助成
- 対象 市民税非課税世帯の妊婦

妊娠中から産後まで
様々な施策をとおして
寄り添い支援します。



予算

子どもたちの輝く未来創造都市こまつ 子育て環境のレベルアップ



予算額計：4,150万円

げんきな子育て環境づくり推進費

予算額：3,950万円

私立こども園等における **心と体を育む** 環境づくり、
安全・安心 な環境づくりの推進を支援

県乳幼児医療費助成
制度拡充を充当
(R5～)

● 遊具等整備助成 [1,200万円]

- ▶ 遊具の新設や園庭整備等に要する経費
- ▶ 補助率 1/2 (上限200万円)

● 浸水対策整備助成 [2,500万円]

※洪水ハザードマップ浸水深0.5m以上の区域

- ▶ 大雨による浸水から施設を守る設備、工事等に要する経費
- ▶ 補助率 1/2 (上限500万円)



そのほか [250万円]

各園が実施する食育や健康な体づくりを推進する取組みを支援

地域連携型こども食堂支援費

予算額：200万円

こども食堂の**新規開設**、開設後も**運営**を応援します

- 子どもたちが安心して過ごせる地域の新たな居場所づくり
- 地域と連携した取り組みを市全体に広げます



対象

地域住民により組織されている団体、ボランティア活動を目的に市民により組織されている団体 (いずれも小松市内)

対象経費

食材料費、消耗品費、燃料費、備品購入費 ほか

補助額

上限20万円



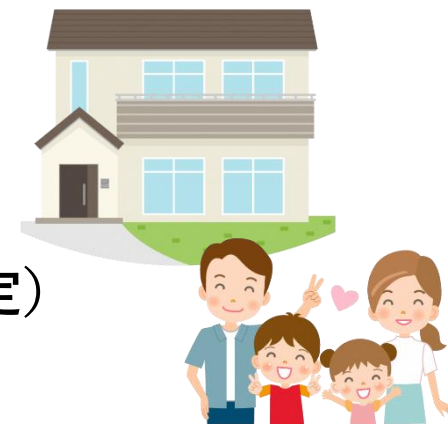
子どもたちの輝く未来創造都市こまつ 認定こども園だいいち整備調査費

予算額：300万円

建設後約50年が経過し、老朽化が進んでいる園舎（S48.2、H21.3竣工）について移転改築し、園児・保護者・地域・職員にとって、安全・安心かつ良好な保育・教育子育て環境を整えます。

<今後の予定>

- ・～R5. 3 公立園のあり方に関する基本方針策定
- ・R5. 4～ 保護者・地域等との協議（移転先地選定）
- ・～R6. 3 用地交渉・契約（測量・土地鑑定）
- ・R6. 4～ 設計業務（地質調査）
- ・R7～R8 工事
- ・R8 開園



予 算

マイナカード普及促進と子育て世代への支援 ～子育て応援 自治体マイナポイント～

予算額(3月補正)
：6,110万円

小松市独自
マイナポイント

マイナンバーカード保有の 18歳以下の市民対象

(平成17年4月2日以降生まれ)

3,000円 相当のポイント支援

(国のマイナポイント事業の基盤を活用)



R
Edy

d払い

au
PAY

電子マネー
CoGCä
コジカ

R Pay

その他事業者も
参入を検討中

キャッシュレス決済サービス (予定)

事業 「子育て応援自治体マイナポイント事業」 (国の地方創生臨時交付金等を活用)

目的 「子育て世帯の生活支援」と「マイナンバーカードの普及促進」

時期 (予定) 令和5年 7月1日～12月31日に申込受付 (受付後、1カ月程度で付与)

手続き方法 『マイナポイントアプリ』を利用して、スマホなどから申込

- ・マイナカード、マイナポイント受付の窓口を拡大
- ・市役所に加えて、イオンモール新小松に申請サポート窓口を設置予定

家計
応援



予算

学校給食費無償化の拡大 ～中学生から小中学生まで～

予算額：4億7,110万円

子どもたちの健やかな成長を社会全体で支えるとともに
子育て世帯への負担を軽減するため学校給食費無償化の
対象を拡大します



1. 対象・負担軽減額

令和4年度

[対象]

市立中学校
市立義務教育学校(※)
人数 約3,000人

※後期課程(7～9年)

[負担軽減額(年間)]

中学生 64,300円/人



子育てするなら小松



令和5年度

[対象]

市立小中学校
市立義務教育学校
人数 約8,500人

[負担軽減額(年間)]

小学生 51,900円/人

中学生 64,300円/人

注) 給食費 小学校 273円/食, 中学校 338円/食

保護者の住民登録が本市にある者が無償化の対象となります

2. 無償化の方法

小松市学校給食会へ無償化相当額を補助

※市外の小中学校に通学している者には給食費相当額を補助

3. 給食会計の透明化等に向けた準備

令和6年度に給食会計を公会計化するため条例を制定



予算

松陽中・稚松小整備に向け始動

予算額計：1,600万円

子供たちの学ぶ意欲を支え、
豊かな心と夢を育む学校づくりへ向け **始動**

松陽中学校整備費 400万円

- ・国に対し概算要求➡R6実施設計着手
- ・電波障害調査, 校舎構造体事前調査
- ・プロポーザル実施
- ・校舎整備検討委員会会議
- ・検討委員会視察調査, アンケート調査

稚松小学校整備調査費 1,200万円

- ・学校施設整備に向けた**総合調査実施**
(立地, 複合化, 整備計画案 他)

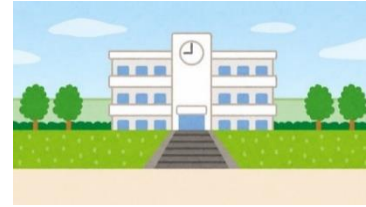
学校施設の複合化について、広い視点で
複数案の条件整理を行う



中学校部活動地域移行こまつモデルを推進 ～ まずは休日から ～

予算額：300万円

少子化の影響で減少していく中学校部活動
において生徒が活動する機会を保障します



① 地域移行に向けた協議を開始します

構成 小松市スポーツ協会, 小松市中学校体育連盟,
小松市文化協会, 小松市中学校文化連盟,
小松市教育委員会(学校教育課), 小松市交流
推進部(スポーツ育成課, 文化振興課)

指導者確保, 活動場所確保などの課題を協議



② 「こまつモデル」として運動部2競技から先行実施します

- ・剣道 … 小松桜木剣正会にて希望部員による一括稽古
- ・ハンドボール … 中学校持ち回りによる合同練習



令和6年4月 大学院サステイナブルシステム科学研究科 **博士課程** 設置 (予定)

次世代・地域産業
を担う高度人材

教育者、研究者、
組織の指導者

高度な「総合知」
を備えた人材

スケジュール

R6.4 大学院後期課程（博士）設置

R6.3 大学院前期課程（修士）1期生修了

秋頃 設置認可予定

施設整備・開設準備

R5.3 文部科学省へ認可申請



末広キャンパス研究実験棟
(R5.6 竣工予定)

定員	生産システム科学専攻	前期 15名	後期 2名
	ヘルスケアシステム科学専攻	前期 3名	後期 1名
	グローバル文化学専攻	前期 3名	後期 1名
学位	修士、 博士 （工学、保健学、国際文化学）		

就職内定状況（令和4年度卒業予定者）

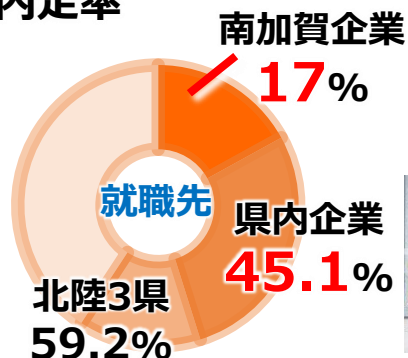
きめ細やかな就職サポートにより

2年連続 就職内定率

100%

※R5.1.31時点

大学院や留学など
進学予定者を除く



令和5年度 入試志願状況

一般選抜志願倍率（学部） **5.45倍**

（単位：倍）

学科別 志願倍率	前期日程	中期日程
生産システム科学学科	1.45	8.40
看護学科	3.20	24.50
臨床工学科	3.41	16.60
国際文化交流学科	2.51	9.36

手術支援ロボット導入

予算額
4億5,000万円

◆南加賀医療圏のがん治療の充実

- H19.1 地域がん診療連携拠点病院の指定
- R 3.3 放射線治療装置 更新
- R 4.6 外来化学療法室 拡充
- R 5.2 無菌治療ユニット オープン

Innovation!

◆手術支援ロボット導入について

患者さんに優しい**低侵襲医療**、術中の医師の負担軽減を図るため、手術支援ロボットを導入

◆想定される症例

直腸切除・切断術、結腸悪性腫瘍手術、前立腺悪性腫瘍手術など主に**がん手術**に使用

◆導入スケジュール

内 容	年 度			R4			R5												R6
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			
導入検討																			
機種選定・工事打合せ																			
入札・納品																			
操作訓練																			
診療開始																			

院内で委員会を
随時開催

院内で委員会を
随時開催



※術中イメージ（ダ・ヴィンチが選定された場合）

看護師等修学資金貸付金制度

予算額
300万円

市民病院の**看護師等確保**のため、養成学校に在学する学生に修学資金を貸与（対象人数：5人程度）

New!

◆制度概要

項目	内容
対象職種	看護師、助産師、保健師
貸与額	上限5万円/月
貸与期間	修学期間終了まで
免除要件	小松市民病院職員として、貸与期間に相当する期間を看護師等の業務に従事した場合

経営強化プラン策定

予算額
1,000万円

◆経営強化プランについて

Planning!

- ・持続可能な地域医療提供体制を確保するため、地域の実情を踏まえつつ、必要な経営強化の取組を記載
- ・役割・機能の最適化と連携の強化 や **施設・設備の最適化** など6つの視点で取り組む

◆将来を見据えた建設構想

- ・本館施設（平成元年新築移設、築34年経過）への対応
- ・病院建設を踏まえた経営強化プランを検討

◆市民病院建設に向けた令和5年度の取組

- ・簡易調査（概算事業費算出、建替え可能性調査）
- ・基本構想（医療機能・病床規模・施設規模など）

定住促進・老朽危険空き家解体推進

市外からの定住者への支援制度拡充

新幹線小松駅開業3年間限定

予算額：8,000万円
(定住促進費)

「ようこそ小松」定住促進奨励金と住まいる小松奨励金の併用を可能

ようこそ小松
最大40万円

+

住まいる小松 10万円

三世代家族 最大20万円

=

制度併用で
最大70万円
(R5年度～R7年度)



老朽で危険な空き家解体の推進

予算額：300万円

■早期解体推進

補助限度額 30万円 → 50万円に拡大

■危険な空き家放置への対策(改善しないもの)

市が指導通知後、2年経過した空き家

補助限度額 50万円 → 20万円に減額

今後国の法改正に併せて更なる対策強化



予算

小松市プレミアム付商品券

いい街こまつプレミアム

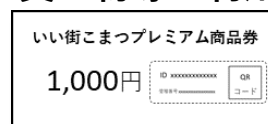
予算額(3月補正)：6億7,870万円

物価高騰の影響を受ける市民生活を支えし、消費喚起による地元経済の活性化を目指す

- ✓ 商品券 **13,000円分/冊** (1,000円券×13枚)
- ✓ 販売価格 **10,000円/冊** (プレミアム率**30%**)
- ✓ 販売数 **50,000冊** **前回より増刷** (1世帯2冊)
- ✓ 販売方法 市内全世帯に購入引換券発送
- ✓ 販売窓口 市内郵便局、イオンモール新小松(イオンスタイル新小松)
イオン小松店、アル・プラザ小松と連携して販売
- ✓ 取扱店 市内に本店がある飲食店や小売店、宿泊施設 など

7月中 販売・利用スタート

紙券として
買い物等で利用



電子換金
で**効率化**
〔持参換金も
選択可〕

前回より販売窓口拡大

予算

泊まろう！こまつ宿泊応援割 (第2弾)

予算額(3月補正)：3,000万円

1万泊分の予算で第2弾をスタート

宿泊・旅行代金(税込)	市内宿泊 1人1泊あたり割引額
6,000円以上	3,000円

〔申込先〕こまつ宿泊応援割事業取扱店
(市内宿泊施設・旅行会社等)

〔期間〕**2023年3月1日宿泊分**～予算終了まで
(2023年3月31日宿泊分まで予約可能)



小松市民以外の方も利用できます！

公共施設づくり・まちづくりの進め方のロールモデルに

芦城公園周辺の公共施設マネジメントを 総合プロジェクト化【2,100万円】

✓ 未来型図書館等複合施設官民連携事業調査

- 複合機能や官民連携手法等を調査・検討
- 基本計画策定（R6年度）に向け事業方針を作成

集約
再編

- ▶ 具体の立地場所
- ▶ 施設の集約・再編（図書館・博物館・公会堂等）
- ▶ ビジョン・コンセプトを実現する機能
- ▶ 公園との一体的な整備



官民
連携

- ▶ 事業者との対話を通じた参入意欲の把握
- ▶ 民間収益事業の可能性
- ▶ 官民連携の事業手法



アクセ
セス

- ▶ 駐車場のあり方



回遊性

- ▶ 周辺文化施設との連携
- ▶ 都市機能誘導区域内の回遊性創出

対話を通じて共に創り続ける 体制づくり【250万円】

✓ 対話と活動の場「こまつリビングラボ」(仮称) 形成

- 市民・団体・企業・大学との連携強化
- アイデアを企画・実践（ワークショップから発展）

共に
学び
考える

- ▶ 複合機能や官民連携のあり方
- ▶ 施設で起こる体験のイメージ

具体化

共に
創る

- ▶ 未来型図書館アイデアテスト
 - ・アイデアを現図書館で随時実践
- ▶ 未来型図書館マルシェ
 - ・機能体験イベントを芦城公園等で開催

本棚づくり



演奏会



✓ 活動を支える人材育成（第2期）

- 子ども司書養成講座（第1期18名）
- 図書館エディター養成講座（第1期25名）



現図書館の魅力アップ

図書館活動費等予算
2,500万円に含む

✓ デジタル利用者カード導入（R5.10システム更新）

- スマートフォンで貸出し手続きが可能
- 将来の電子図書導入に向け検討



トップアスリートとの連携と スポーツ環境の充実

予算額計：2億9,996万円
(R6債務負担：4億円)

トップアスリート・トップチーム連携で 子どもたちのスポーツ環境を充実

予算額
796万円

“する”スポーツ

◆トップアスリートによるスポーツ教室

複数種目が体験できる教室を開催！
オリンピックや県内のアスリートが直接指導！

①トランポリン&体操&柔道

②カヌー&ラグビー

③ハンドボール&バスケットボール&陸上



“みる”スポーツ

◆トップチームのプレーを体感

ラグビーワールドカップ フランス 2023

パブリックビューイングを開催！



日本代表戦
予選プール 2試合を放映予定
会場：小松駅西口 市民公園 他



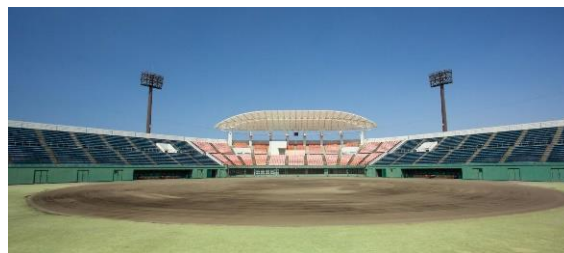
県内トップチームのホームゲームをみんなで応援！

スポーツの力により
地域の一体感を醸成



安心してスポーツができる環境づくり

◆弁慶スタジアム(末広野球場)リニューアル



予算額
2億6,000万円
(R6債務負担：4億円)



<改修内容>

- ・ナイター照明・施設内照明のLED化
- ・スコアボードフルスクリーン化
- ・内野グラウンド排水
- ・ナイターゲームの実施が可能に！

2023/2024年度工事(2025年3月完成予定)

◆義経アリーナ(末広体育館)リニューアル



予算額
3,200万円
(設計費)

<改修内容>

- ・空調設備新設
- ・床、電気・排水設備改修 等

プロスポーツを
誘致できる仕様に！

2023年度実施設計
(2024/2025年度工事)

マイナンバーカードの現状と今後の利活用に向けて

・カード交付率（令和5年1月末時点）：市60.7% 【参考】県平均：61.9% 国平均：60.1%

現状

- ・顔写真付き公的身分証明書として活用
- ・コンビニでの公的証明書の取得
- ・健康保険証としての利用
- ・マイナポータルから行政手続きが可能
- ・民間のオンライン取引での活用

今後

- ・海外での継続利用
- ・健康保険証との一体化
- ・運転免許証との一体化

令和6年中～

令和6年秋(予定)～

令和6年度(予定)～

6月1日～

「来なくても良い、身近で手続きができる市役所」を目指して
**コンビニで証明書を取得する際の
手数料を100円引き下げ**

【証明書】	【現行】	【改正後】
住民票の写し	300円	200円
印鑑登録証明書	300円	200円
戸籍（謄本・抄本）	450円	350円
戸籍の附票の写し	300円	200円
所得課税証明書	300円	200円

マイナンバーカードで
より便利に！



旧波佐谷小学校の利活用について

公募型プロポーザル審査会を実施 **施設の活用方針と建物等の譲渡先(予定)が決定**

■ 譲渡先 **やまとグループ**

やまと
(株式会社大和〔市内食品製造業〕等のグループ)

旧校舎(改修)

- ・ 自社の商品研究開発拠点
- ・ まちの保健室
健康相談、シニア等向けカルチャー教室 等
- ・ レンタルオフィス&スペース
地域や各事業者に出し

■ スケジュール

- ・ R5.2.9 審査会、相手方決定



譲渡契約や事業化に向けた市との協議、契約締結 等

- ・ R5. 春 事業着手

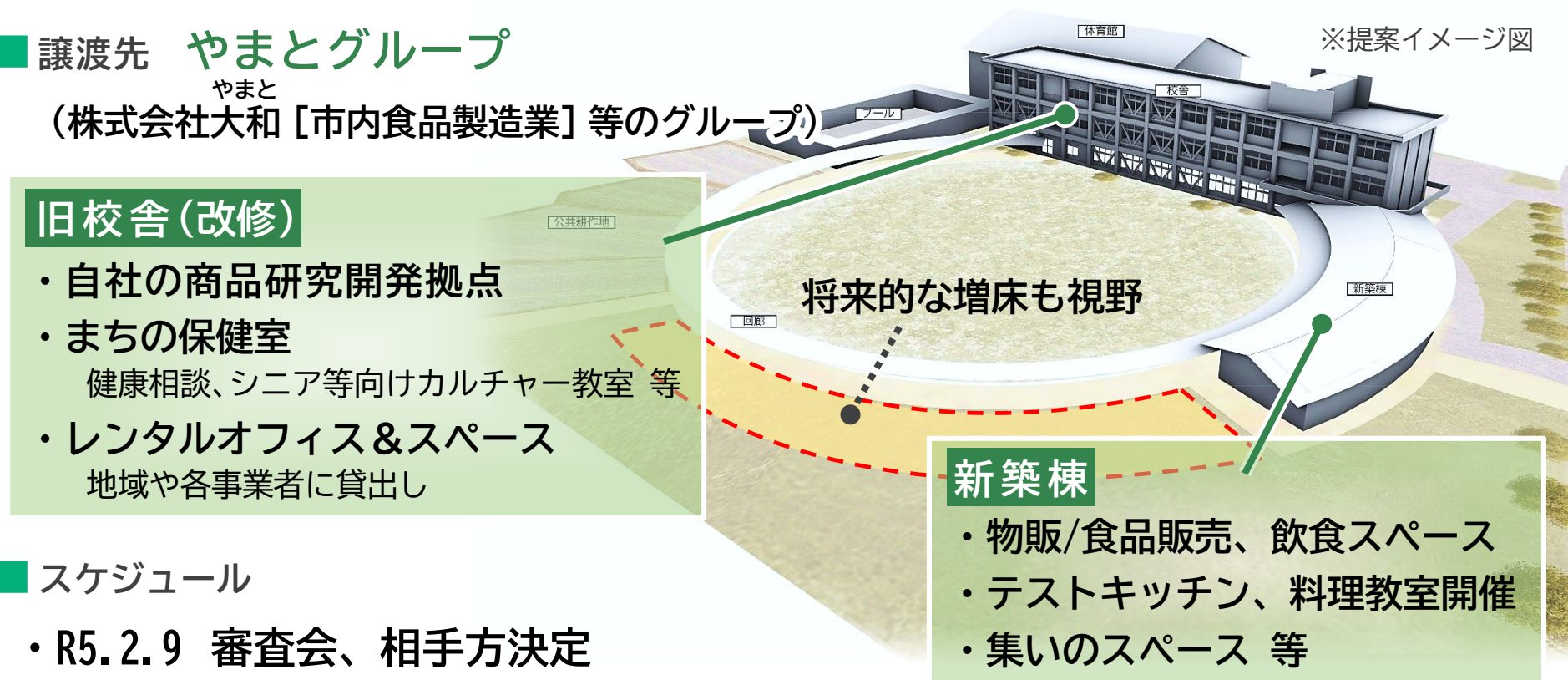


改修・整備 等

- ・ R6.4月 オープン予定



相手方との協議が進み次第
今議会中に**無償譲渡議案**を提出予定



※提案イメージ図

組織機構の見直しについて

- ・ **妊娠期からの切れ目ない子育て支援体制を強化**し、「子育てするなら小松」への環境づくりをさらに推進するため、**こども家庭部を新設**（部設置条例の一部改正）
- ・ **未来型図書館を含む芦城公園一帯のまちづくり、農山村地域の振興や治水対策など、重要プロジェクトの推進体制を強化**

【現在】

【改正】

教育委員会事務局から移行

市長公室

未来型図書館づくり推進チーム

- ▶ 芦城公園内の文化施設等と一体的に、計画づくり等を推進

健康福祉部

くらしあんしん相談センター

こども家庭課

いきいき健康課

[所管施設] すこやかセンター

長寿介護課

ふれあい福祉課

こども家庭部

子育て支援課

子育て環境課

すこやかセンター

- ▶ **子育て支援課**は、子ども子育て政策全般、少子化対策等を担当

- ▶ **子育て環境課**は、幼・保・こども園、児童センター等の管理・支援等を担当

- ▶ いきいき健康課所管施設の **すこやかセンター** を課組織に改編して、親子の保健、不妊・不育治療支援、発達支援等を担当

- ▶ いきいき健康課の成人保健等の業務は、市役所本庁舎に移転

経済環境部

農林水産課

経済環境部

農林水産課

農山村創生室

- ▶ 自然豊かな郊外エリアの活性化や里地・里山保全への推進体制を強化

都市創造部

道路河川課

都市創造部

道路課

内水対策室

- ▶ 河川水路の保全や雨水排水対策等、災害に強いまちづくりへの推進体制を強化

その他 ▶ 消防本部予防防災課所管の指令センターは「**情報指令課**」に改称し、課組織に引き上げ

▶ 南部行政サービスセンターは「**南支所**」に名称を統一

